

R4 年度長岡京市市民活動応援補助金 採択事業紹介シート(市民提案型)

⑦ 子どもと共に育つ親の会 フェリーチェ / 止まり木とつながりの入口事業

団体紹介

「子どもと共に育つ親の会 フェリーチェ」(来年度より「フェリーチェ」に変更)

子どもとわかもの、彼らに関わる大人たちにとって誰かと繋がれる「入口」であり、ほっとできる「止まり木」のようなゆるく心地よい場づくりを目指して活動しています。

採択事業紹介

不登校、病気、障害、家庭の環境など子どもやわかもの、その保護者が抱えている困難さは多様で複雑です。理解してもらえないという思いは孤立感や不安感を深め、地域との関係も弱くなっていきます。行政や支援団体への相談もなかなか繋がらないことが多いです。特に、こども、わかものに関しては、義務教育を終了するとつながりが切れ、見えにくくなってしまいます。私たちは、困難さを「支援」ではなく、ほっとできるような「止まり木」であり、だれかとつながる入口となる場を開き、「あなたはあなたのままでいい」と思えるような場所作りを目指したいと考えました。

開催した結果や今後の予定など

行った事業

- ・ 通信「フェリーチェのつぶやき」発行(4回)
- ・ フェリーチェカフェ開催(7月、8月、9月)
- ・ 「こころのへいわを守る御守り」作成
- ・ 小児がん支援のためのレモネード募金(サポセンフェスタ)
- ・ 「大人の思秋期を楽しむために」(10月、11月、12月)
- ・ アゼリア交流会(教育支援センターアゼリア教室卒所生交流会)

補助金申請事業から広がったこと

フェリーチェカフェはコロナ感染拡大時期でもあり、参加者は少なかったが、その中で社会福祉協議会の絆事業グループとつながりができ、今後の活動に広がりができた。またその紹介で、イズミヤ長岡店さんの屋上花植え企画と繋がり、フェリーチェ、イズミヤ様、地域の方、社協と一緒に活動するきっかけができた。

「こころの平和を守るおまもり」に印刷について引きこもり支援の活動をされている「乙訓もも」様に相談をし、印刷所を紹介して頂いた。

サポセンフェスタにてレモネード募金活動を行わせて頂いたことで、「フェリーチェ」の名前を知っていただくきっかけになった。

補助金活動のおかげで、上記のようにたくさんの方に名前を知っていただき、つながりも増えた。また同じ問題を一緒に考えてくださる機関との出会いも増え、来年度からは 10 代 20 代とそれに関わる大人の居場所「f-room」を中心に活動し、新年度より本市で取り組まれる「重層的支援体制整備事業」において、私たちが何をできるのか考えていきたいです。